

新治中部地区 地区別計画

(平成 23 年度～平成 27 年度)

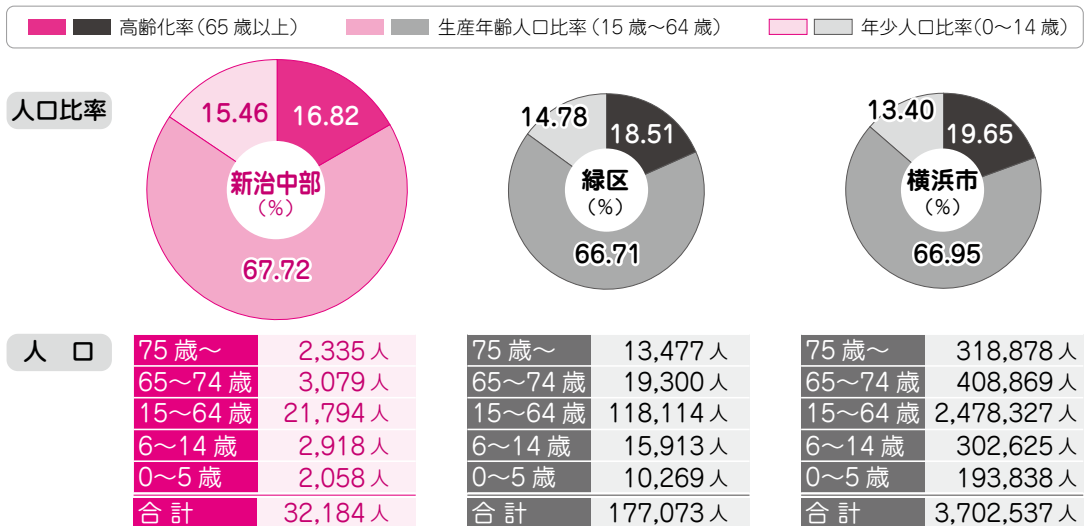
新治中部地区別計画策定委員会

地域 中山町、上山 1～3 丁目、寺山町、森の台、台村町

明治 41 年横浜線開通と同時に中山駅が開業し、駅周辺に市街地が形成された。現在も中山駅を中心に緑区総合庁舎や警察署などの行政機関、福祉保健施設があり、駅前には商店街などの商業施設がある。また、横浜市営地下鉄グリーンラインが平成 20 年 3 月開通。

一方、南側には県立四季の森公園や長坂谷公園があり緑豊かな環境となっている。

<年齢区分別人口>



- 高齢化率 16.82%は、緑区の 18.51%より 1.69%、横浜市の 19.65%より 2.83%、それぞれ低くなっている。
- 年少人口(0歳～14歳)の割合 15.46%は、緑区の 14.78%より 0.68%、横浜市の 13.40%より 2.06%、それぞれ高くなっている。

平成 22 年(2010 年)9 月末

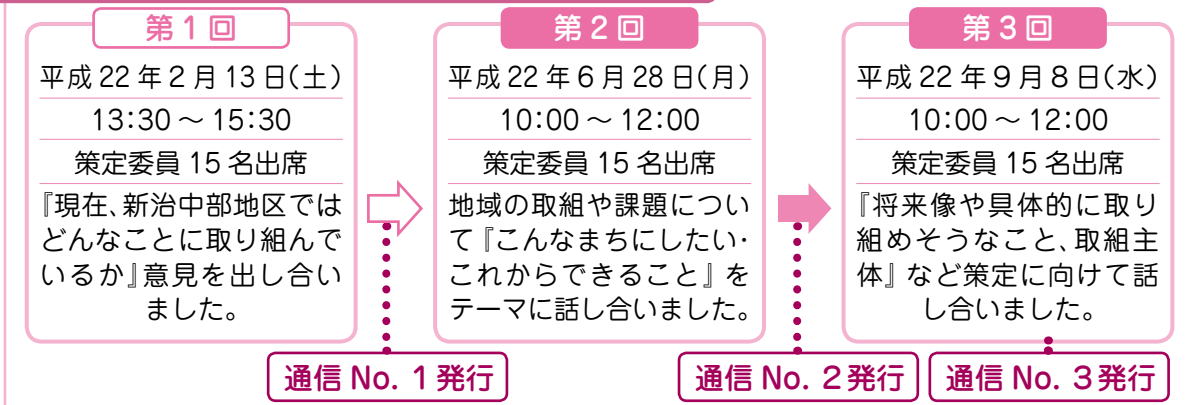


<新治中部地区 地区別計画策定委員>

(順不同、敬称略、○:委員長)

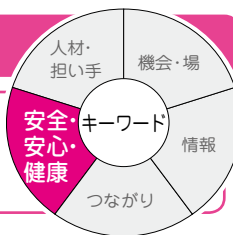
- ○岸 日出夫
- 黒野 繁
- 土井 章男
- 喜代永直明
- 中藤 正夫
- 正木きよ子
- 村田 明雄
- 岩間 仲博
- 杉崎 正明
- 田代 栄治
- 佐藤 智洋
- 山崎 高雄
- 田中 雄一
- 伊藤 武司
- 古内 敏子
- 河原喜美子
- 南部 則子
- 山田 敏雄

地区別計画策定委員会の開催状況 中山町自治会館



防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい

- 【課題】**
- 世災害時など困ったときに、手助けをしてくれる人がいて欲しい。
 - 安全・安心に関心を持つ人が増えてきたので、その関心を活動につなげたい。
 - 行方不明者が出たときに、地域で情報を共有できるようにしたい。



【5年間で取組んでいきたい事】

<実施主体> 地域防災拠点運営委員会

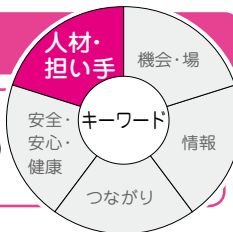
- 防災に関して、今後の地域の担い手となり得る中学生の『力』を活かすため、学校と連携していく。
 - 中学生と『地域の防災』について、意見交換会を実施する。
 - 防災訓練の平日合同(地域と学校)実施について検討する。
 - 4 地域防災拠点の防災訓練を同一日に実施するよう検討する。
- 毎年意見交換会を開催することで、次の計画を一緒に立てることを目指す。
- 子どもたちの防災の意識を高めるように学校へ提案していく。

<実施主体> 連合自治会を中心に地域全体で取組む

- 行方不明者が出たときに、地域で情報を共有できるように、関係者で集まって検討する。

次世代につながるまちにしたい

- 【課題】**
- 地域活動の担い手がない。団塊の世代に地域の担い手になってもらいたい。
 - 次の世代の人材育成について考える必要がある。(小学生や中学生の親世代など)
 - 団塊世代の地域デビューを手助けしたい。



【5年間で取組んでいきたい事】

<実施主体> 地域全体で取組

- 団塊の世代等、幅広い世代に働きかけるには
 - 顔見知りになって声をかけ、心のつながりをつくる。
 - 運動会など地域のイベントを通じて仲間作りをしていく。
 - 防犯パトロール等ふれあう機会をつくり、関係づくりを進める。
 - 気楽に、普段着でできる自治会活動とし、参加しやすくする。
 - 地域のボランティア活動に中学生に継続的に参加してもらう。
 - 小学生に福祉体験の情報を提供する。
- 定期清掃に参加する人が増えている。定期清掃を広めることで、つながりができ、安否確認もできるようになる。
- 自治会相互の情報を共有することで、自治会活動の協力を継続する。

みんなで力を合わせて **次世代につながる地域づくりを!**



みどりのわ・ささえ愛プラン

新治中部地区別計画策定委員会通信 No.1

～みどりのわ・ささえ愛プラン とは～

わたしたち一人ひとりが自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるよう、区民の方々や団体・事業者の皆様、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所等が協働で共にささえあうまちづくりを進めていくための計画です。その中でも、「地区別計画」は、日々の暮らしの中で起きている身近な地域での“福祉・保健”に関する課題の解決に向けて、地域の皆さんが検討し、順序立てて取り組むための計画です。

新治中部地区では、下記の通りに第 1 回目の地区別計画策定委員会を開催し、『新治中部地区ではどんな福祉保健の活動が取り組まれているか』といった「現状の確認や情報の共有」を行いました。

また、その中から課題と感じていることも少し見えてきました。委員会で話し合われた内容を、地域の皆さんも是非ご覧下さい！

第 1 回 新治中部地区別計画策定委員会
日時：平成 22 年 2 月 13 日（土）
13：30～15：30
会場：中山自治会館

委員会当日の様子



地域の主な福祉保健活動に関わる方など、18 名が委員として参加します。

こんなことを感じています

地域でのつながり ～子どもや高齢者について～

- ・自ら挨拶をしてくれる子どもが増えたように感じます。
- ・自分から思い切って声をかけたら、みんなも返事を返してくれるので挨拶が浸透してきたと感じます。
- ・学援隊・スクールガードでも、子どもと地域の声かけの広がりを感じます

【困っていること】

- ・高齢者と小中学校のふれあう機会が少ない。
- ・いろいろな行事があるが…送迎ができなくて参加できない人もいます。
- ・高齢者の一人暮らし・二人世帯への地域行事への参加働きかけをどのようにしたらいいのか？

学校との連携をはかることで、子どもと地域のつながりがうまれています！

防犯・防災について

- ・安心安全に関心を持つ人が増えてきたように感じます。その関心をどのように活かしていけばよいか？
- ・防災ささえあいカードを活用して、要援護者を把握し、支援者(ボランティア)を増やしていく必要性を感じます。
- ・防災に弱みを感じています。
- ・災害時などで困ったとき、手助けをしてくれる人がいてほしい。

地域で取り組んでいることは

中山町では防災無線用のスピーカーを設置する予定です。



こんなことを感じています

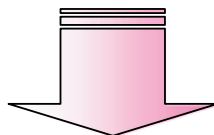
自治会・地域など

- ・個人情報保護ということで、一人暮らしや障がい者の方の情報が把握しづらい。
- ・地域の行事などで学校と連携すると、地域の活性化に繋がる。地域の運動会に学校の先生が参加したら、子どもたちが生き生きしていた。
- ・役員等の役割をもっている人は、お互いに顔見知りで、連携が取れているように感じます。
- ・次の世代の人材確保・育成はどうしたらいいか？
- ・ちょっとしたことをボランティアしてくれる人が必要。



地域で取り組んでいることは

中山町では、自分のできることを登録しておいて、必要に応じて活動していただく取り組みをしています。



こんなまちにしたい！

地域でのつながり・助け合い

- ・孤独死が増えているように感じる・・・小さい隣り組があるといい。
(ゴミ出しの時を利用して、安否の確認をするなど)
- ・「遠くの親戚より、近くの隣人」この関係が大切。

防災・防犯について

- ・防災拠点までの道の整備も必要。
- ・防犯パトロールでは、もっと学校と連携していきたい。
- ・安全安心に関心を持つ人が増えてきました。その関心を活動につなげていきたい。

担い手・人材

- ・今後も高齢者が増加していく。民生委員をサポートするボランティアを探したい・仕組みを作りたい。
- ・地区ごとにボランティアをコーディネートする仕組みがあるといい。

・・・などなど、他にもたくさんの意見が出ましたが、その一部を紹介させて頂きました。今後も委員会を開催し、課題解決に向けてさらに話し合いを進めていきます！



<連絡先>

新治中部地区別計画策定委員会
事務局 TEL：930-2352
緑区 福祉保健課長 津田

新治中部 地区別計画策定委員会通信 No.2



～「みどりのわ・ささえ愛プラン 地区別計画」って？～

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、わたしたち一人ひとりが自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるよう、区民の方々や団体・事業者の皆様、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所等が協働で共にささえあうまちづくりを進めていくための計画です。

その中でも、「地区別計画」は、日々の暮らしの中で起きている身近な地域での“福祉・保健”をはじめ生活に関する課題の解決に向けて、地域の皆さんが検討し、順序立てて取り組むための計画です。



活発な意見が出ました。

～「地区別計画策定委員会」って？～

地域の主な福祉保健関係団体などの委員で構成されている委員会で、「地区別計画」策定の中心になっています。

新治中部地区は18名の委員で構成されています。

第2回 新治中部地区別計画策定委員会を開催しました！

日時：平成22年6月28日(月) 10時～12時 会場：中山町自治会館

第1回策定委員会では「現在新治中部地区ではどんな活動に取り組んでいるのか」意見を出し合い、今回は地域の取組みや課題について「こんなまちにしたい・これからできること」をテーマに話し合いました。

★こんな活動をしています★

地域でのつながり

- ★新治中部ふれあいフェスティバルを開催し地域のつながりを大切にしています。
- ★まちぐるみ健康づくり教室を行い地域の方と活動をしています。
- ★中途障がい者機能訓練教室「ぬくもり」の活動をしています。
- ★挨拶を励行し、挨拶をすることが浸透しています。

防犯・防災

- ★学援隊（登下校時の見守り）を組織しています。
- ★防災訓練を行っています。
- ★防犯パトロールを地域で取り組んでいます。

地域の活動

- ★夏祭り、秋祭り、運動会を開催して異世代交流を行っています。
- ★花いっぱい運動を行っています。
- ★クリーングリーン（町内清掃）を行っています。
- ★中山スポーツフェスティバルを行っています。

～ 小さなまちにしたい ～

地域でのつながり

- 地域の人地域の人を見守っている。
- 高齢者の方など要援護者と、触れ合う機会が多い。
- “ママ友”の輪に入りやすいサポートがある。
- 地域の活動に関心を持って、まちづくりに参加している。

防犯・防災

- 徘徊・行方不明者について防犯関係者が連携し家族を支援している。
- 日頃から近所づきあいがあり、災害が起きても支えあえる。

地域の活動

- 中学生など行事に参加している。
- 学校と連携ができ活性化した地域となっている。
- 次世代の人材育成ができています。

～ これからできそうなこと ～

地域でのつながり

- 定年後の仲間作りに協力したい。(趣味の会を増やしたり、老人会への参加を勧めるなど)
- 一人暮らしの高齢者の方の心の拠り所作りのため、童謡歌唱サークルを作りたい。
- 『顔の見えるカード』(年齢、血液型、住所などの情報)を作ってみてはどうか。
- こどもと高齢者が触れ合う機会を作っていて、今後も継続させていきたい。
(お餅つき、敬老会、学援隊 など)
- 中学生の登校時のゴミ拾い活動に地域でも何か協力できないだろうか。
- 団塊世代の男性が地域デビューできるようなものを考えたい。

防犯・防災

- 防犯関係について、今後も関係者で集まって検討していきたい。
- 徘徊やこどもの迷子など行方不明者が出た時に、地域で情報を共有できる工夫が必要。

地域の活動

- 町内の定期清掃を継続していく。地域のつながりのきっかけになるのでは。
- 次の世代の人材育成について考える必要がある。(小学生や中学生の親世代など)
- 自治会相互の情報を共有することで、今後協力し合えることもあると思う。

などなど、他にもたくさんの意見が出ました。

第3回の策定委員会では、「みどりのわ・ささえ愛フラン 地区別計画」案策定に向けさらに話し合いを進めます。



<連絡先> 新治中部 地区別計画策定委員会
事務局 緑区 福祉保健課長 津田

TEL : 930-2352

新治中部 地区別計画策定委員会通信 No.3

～「みどりのわ・ささえ愛プラン 地区別計画」って？～

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、わたしたち一人ひとりが自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるよう、区民の方々や団体・事業者の皆様、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所等が協働で共にささえあうまちづくりを進めていくための計画です。

その中でも、「地区別計画」は、日々の暮らしの中で起きている身近な地域での“福祉・保健”をはじめ生活に関する課題の解決に向けて、地域の皆さんが検討し、順序立てて取り組むための計画です。

～「地区別計画策定委員会」って？～

地域の主な福祉保健関係団体などの委員で構成されている委員会で、「地区別計画」策定の中心になっています。新治中部地区は18名の委員で構成されています。



第3回 新治中部地区別計画策定委員会

新治中部地区別計画策定委員の皆さん (順不同)

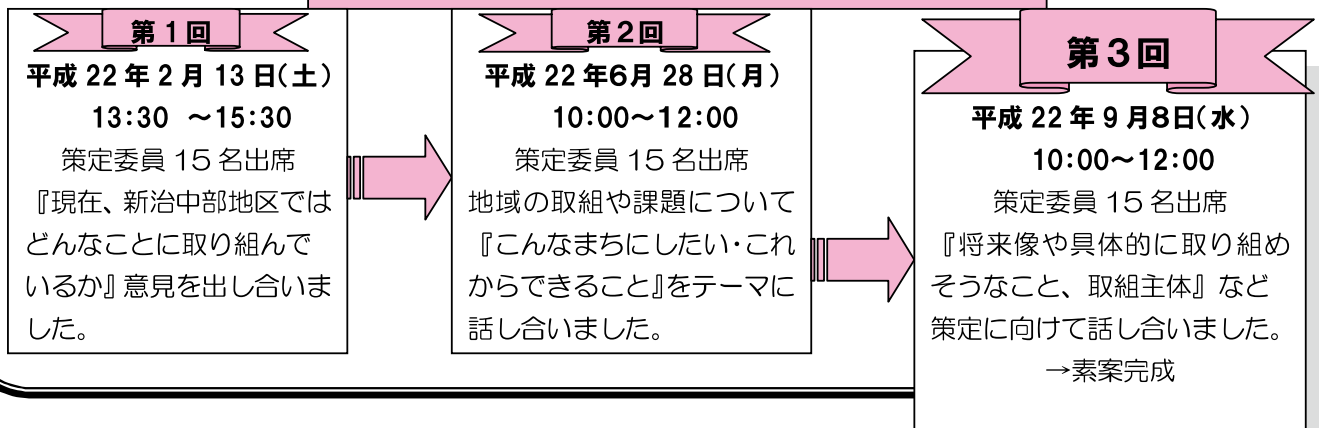
連合自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、子ども会育成会
 リハ教室ぬくもり、中山食事会、老人会

平成22年9月8日(水)10時～12時、中山町自治会館にて『第3回新治中部地区・地区別計画策定委員会』を開催しました。

今回は第2回までの委員会で検討された「取り組めそうな活動」について整理をし、「将来像」や「具体的に取り組めそうなこと」、「取組主体」について話し合いました。

委員会で話し合われた内容を、地域の皆さんも是非ご覧下さい！

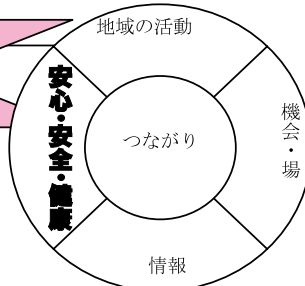
地区別計画策定委員会の開催状況 中山町自治会



防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい

課題

- 災害時など困ったときに、手助けをしてくれる人がいて欲しい。
- 安全・安心に関心を持つ人が増えてきたので、その関心を活動につなげたい。
- 行方不明者が出たときに、地域で情報を共有できるようにしたい。



5年間で取組んでいきたい事

- 防災に関して、今後の地域の担い手となり得る中学生の『力』を活かすため、学校と連携していく。
 - ・中学生と『地域の防災』について、意見交換会を実施する。
 - ・防災訓練の平日合同（地域と学校）実施について検討する。
 - ・4 地域防災拠点の防災訓練を同一日に実施するよう検討する。
- 毎年意見交換会を開催することで、次の計画と一緒に立てることを目指す。
- 子どもたちの防災の意識を高めるように学校へ提案していく。
- 行方不明者が出たときに、地域で情報を共有できるように、関係者で集まって検討する。

<実施主体>

地域防災拠点
運営委員会

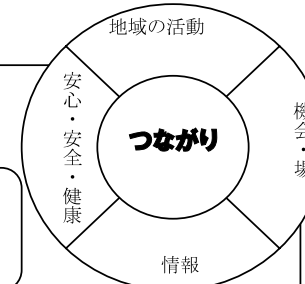
<実施主体>

連合自治会を
中心に地域全
体で取組む

次世代につながるまちにしたい

課題

- 地域活動の担い手がない。団塊の世代に地域の担い手になってもらいたい。
- 次の世代の人材育成について考える必要がある。（小学生や中学生の親世代など）
- 団塊世代の地域デビューを手助けしたい。



5年間で取組んでいきたい事

- 団塊の世代等、幅広い世代に働きかけるには
 - ・顔見知りになって声をかけ、心のつながりをつくる。
 - ・運動会など地域のイベントを通じて仲間作りをしていく。
 - ・防犯パトロール等ふれあう機会をつくり、関係づくりを進める。
 - ・気楽に、普段着でできる自治会活動とし、参加しやすくする。
 - ・地域のボランティア活動に中学生に継続的に参加してもらう。
 - ・小学生に福祉体験の情報を提供する。
- 定期清掃に参加する人が増えている。定期清掃を広めることで、つながりができ、安否確認もできるようになる。
- 自治会相互の情報を共有することで、自治会活動の協力を継続する。

<実施主体>

地域全体で
取り組む



みんなで力を合わせて 次世代につながる地域づくりを!



<連絡先>

新治中部 地区別計画策定委員会
事務局 緑区福祉保健課長 津田
TEL:930-2352